オルガノ株式会社
第74期（2019年3月期） 株主説明会

（証券コード：6368）

2019年6月27日

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

6．会社概要

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

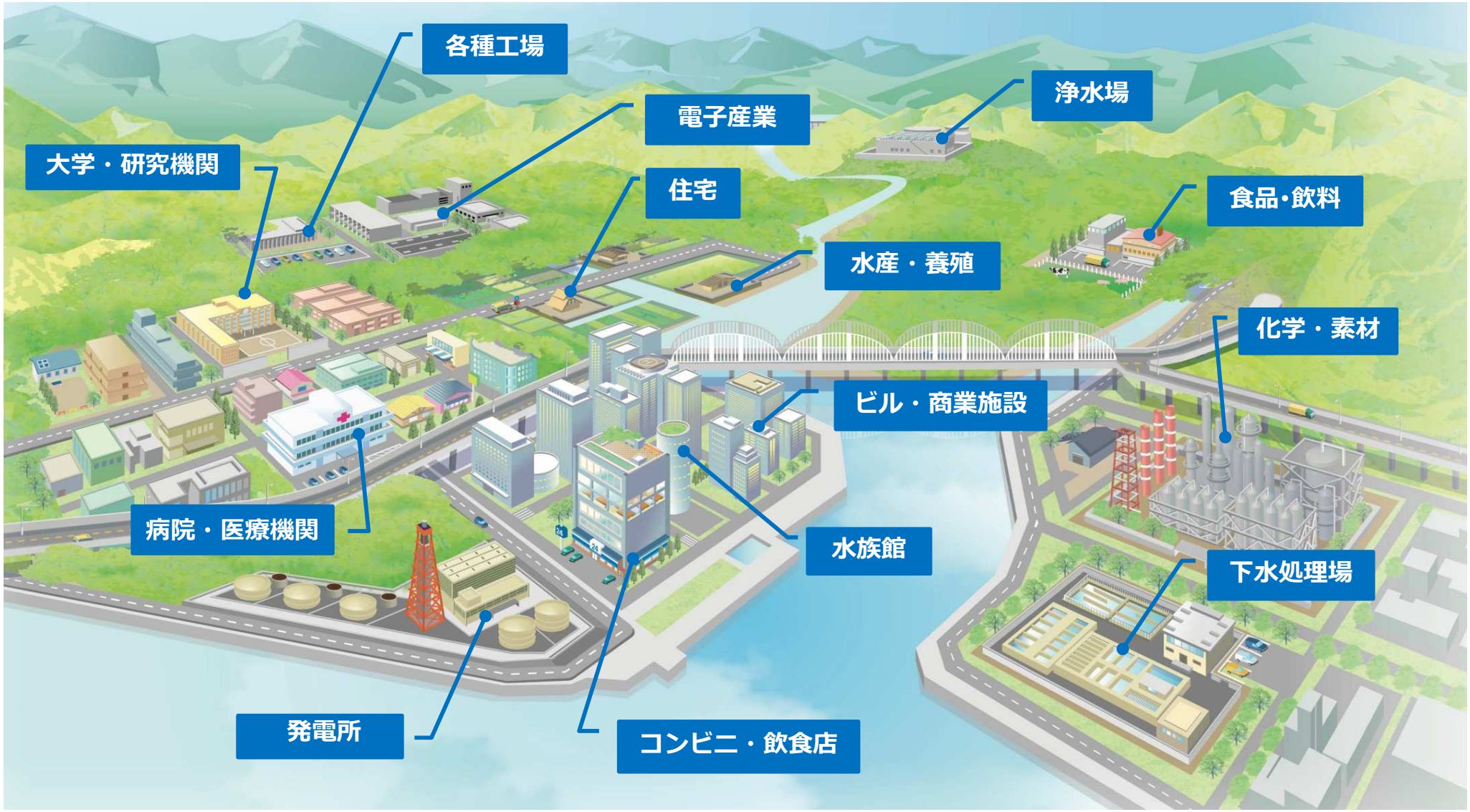
3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

6．会社概要

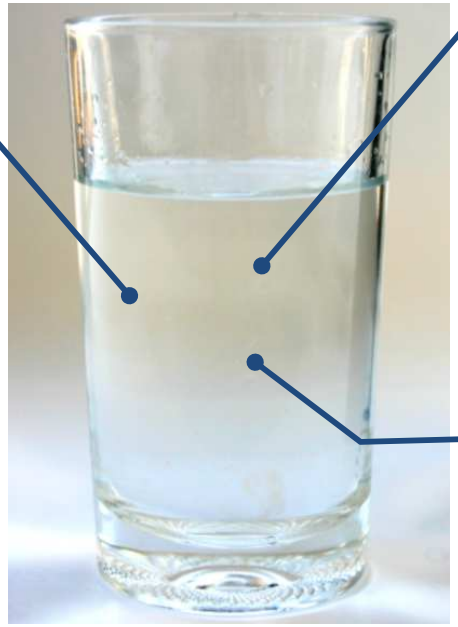
生活と産業を支えるオルガノの水処理技術



水処理の目的

水の中には・・・？

目に見えない微小なもの
：微生物(バクテリア・ウィルス)
：土壌由来の懸濁・コロイド物質など
⇒MF/UFなど膜処理



水に溶解しているもの
：無機イオン～砂糖や塩など
⇒RO膜・イオン交換処理

目に見えるもの
：砂・泥・藻類など
⇒凝集沈殿・砂ろ過処理

水処理とは「水質を目的・用途にあった最適な状態にすること」

⇒ CaやMgなどの硬度成分は飲料水・ミネラルウォーターには(適度に)

必要な成分だが、ボイラー用水や精密洗浄など工業用途では除去を行なう

水処理エンジニアリング

求められる水量・水質を満たす最適なシステムを構築

原水



主な水処理の技術	
凝集沈殿	砂・土・藻類
加圧浮上	油分
膜ろ過	鉄サビ、雑菌、ウィルス
イオン交換	溶け込んだ塩や金属イオンなど
生物処理	有機物
薬品処理	水質や処理速度をコントロール

処理水



回収物



廃棄物



原水は
「水＋物質」

→

各種技術を組み合わせたシステムで
水と物質を**「分離・精製」**

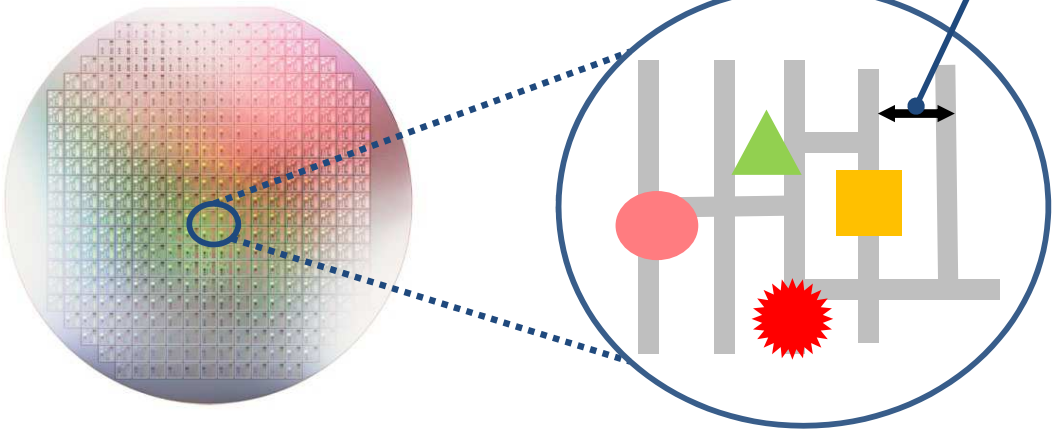
→

処理水と
回収物を利用

純水・超純水の用途

要求水質	用途
水道水（300mg/ℓ（ppm））	炊事・洗濯など日常用水
純水（3μg/ℓ（ppb））	食品・医薬・機械など産業用水
超純水（3ng/ℓ(ppt))	半導体・ディスプレイ・電子部品などの洗浄工程

半導体などの洗浄用途で求められる超純水



シリコンウェハー

最先端半導体の
回路幅（線幅）は
10ナノ以下

微粒子などが回路に付着すると
絶縁やショートが発生
⇒歩留まり(良品率）が悪化

**ナノレベルの
不純物まで
除去した
超純水が必要！**

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

6．会社概要

オルガノグループの歴史

創業期 | 成長期 | 成熟期 | 再成長期

● **売上高推移**



創業 1946
｜無熱蒸留水装置



1960's
｜一般産業向け
大型純水設備



1970's
｜上下水設備
｜糖液等の精製設備



1980's
｜発電所向け
水処理設備



1990's
｜電子産業向け
超純水設備

2000's～
|海外展開
|ソリューションサービス強化



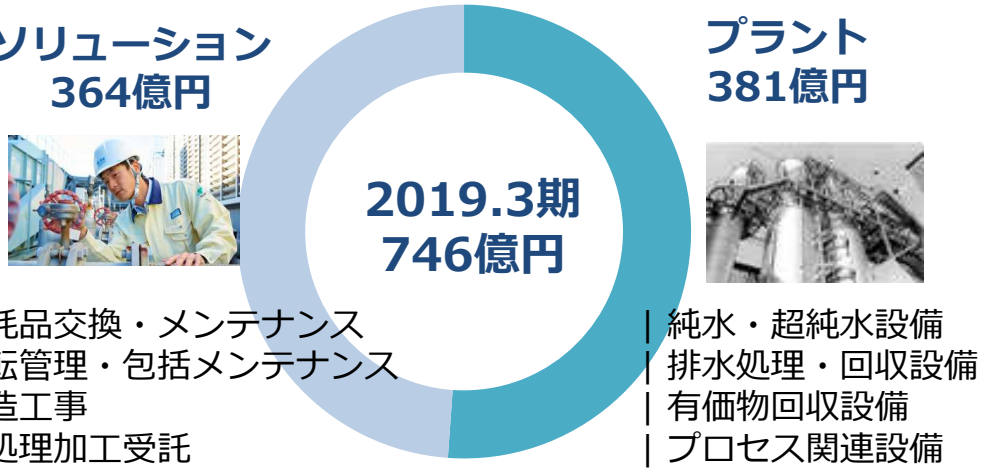
2005～
｜包括ソリューション
サービス本格化

■タイランド(1989)
■マレーシア(1986)
■台湾(2005)
■中国(2003)
■ベトナム(2010)
■インドネシア(2013)
■インド(2015)

1960 1970 1980 1990 2000 2010

オルガノグループの事業

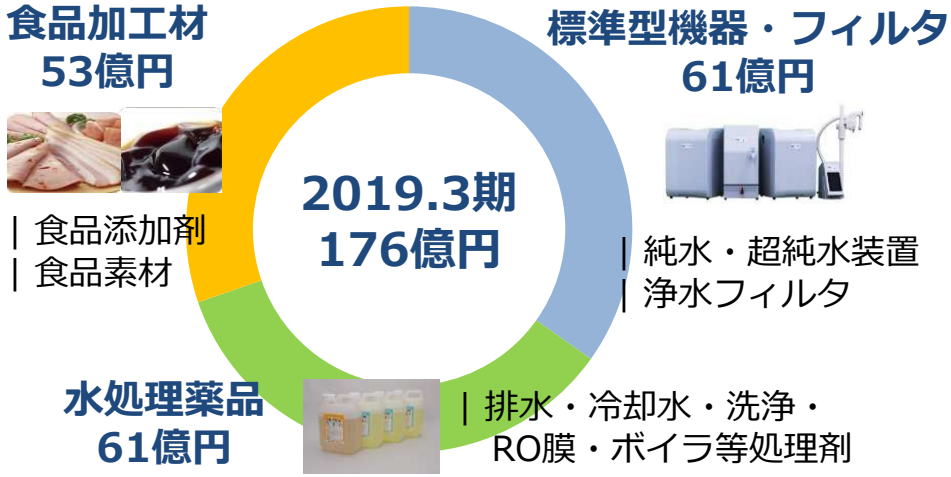
水処理エンジ事業



| 消耗品交換・メンテナンス
| 運転管理・包括メンテナンス
| 改造工事
| 水処理加工受託

| 純水・超純水設備
| 排水処理・回収設備
| 有価物回収設備
| プロセス関連設備

機能商品事業



| 食品添加剤
| 食品素材

| 純水・超純水装置
| 浄水フィルタ

| 排水・冷却水・洗浄・
RO膜・ボイラ等処理剤

電子産業

- 半導体
- FPD
- 電子部品

電力/上下水

- 発電所
- 浄水場
- 下水処理場

一般産業

- 医薬/化粧品
- 食品/飲料
- 機械/化学

機器/フィルタ

- 医療/研究
- 各種製造業
- 飲食/コンビニ

水処理薬品

- 各種製造業
- ビル/商業施設

食品加工材

- 食品加工
- 飲料製造
- 介護/健食

オルガノグループが目指すもの

経営理念・ビジョン

経営理念

全てのステークホルダーの
パートナー企業

水で培った先端技術の展開

産業・生活・環境の
発展と調和

経営ビジョン

事業領域と展開地域の拡大

電子産業分野

機能商品分野

新規事業（分離精製）分野

我々の強み

産業・生活への幅広い実績



水処理の
総合エンジニアリング



水処理で培った先端技術



分離技術



精製技術

我々の目指すもの

産業と生活に必要・
最適な水を提供

生活・産業用水の供給と
回収・再利用

高度排水・下水処理

廃液などからの有価物回収

産業と技術の
発展・高度化に貢献

二次電池向け精製処理

バイオ医薬品向け高度精製

電子産業向け高度処理

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

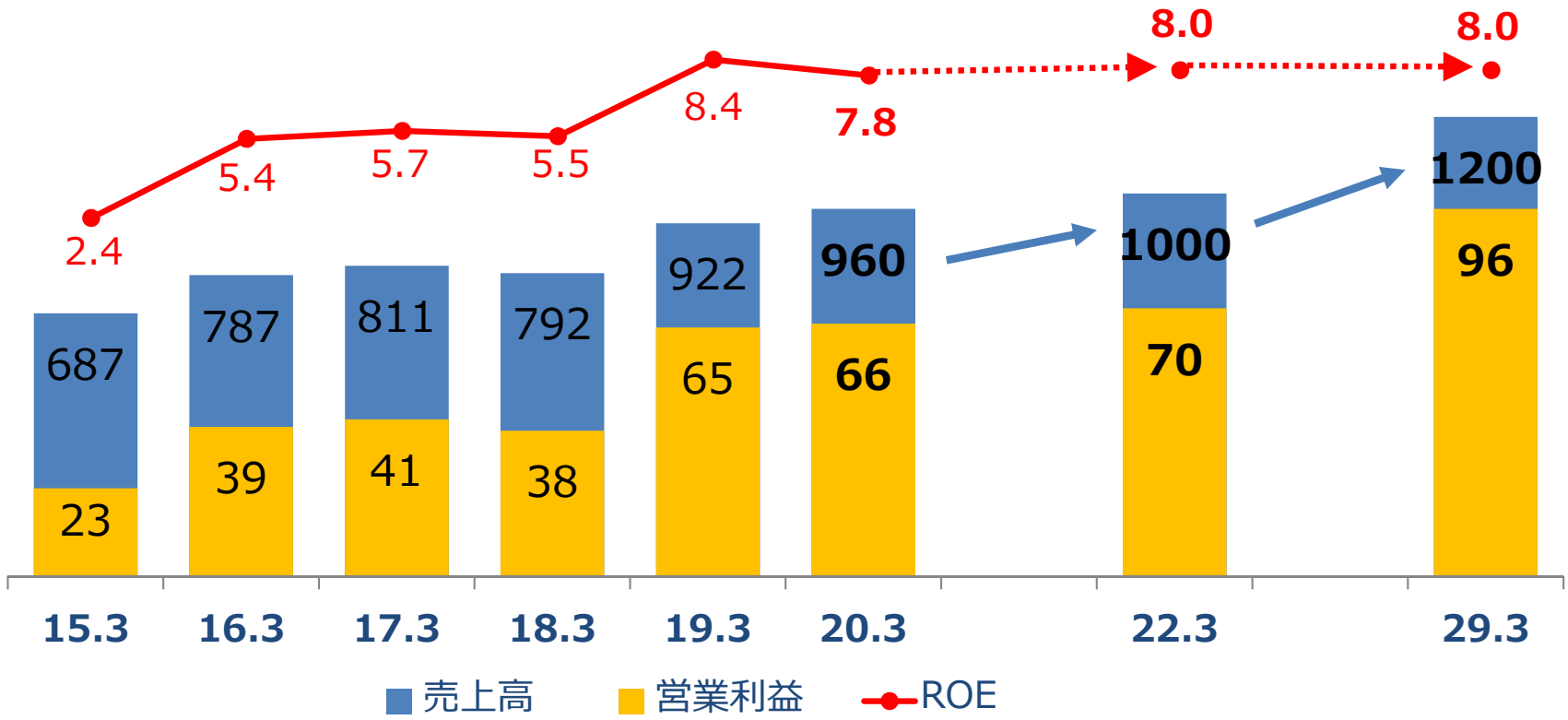
6．会社概要

中長期経営計画

中期計画：売上高 1,000億円以上 / 営業利益 70億円以上

長期計画：売上高 1,200億円　/ 営業利益 96億円

安定的にROE8%以上を計上できる収益構造の確立を目指す

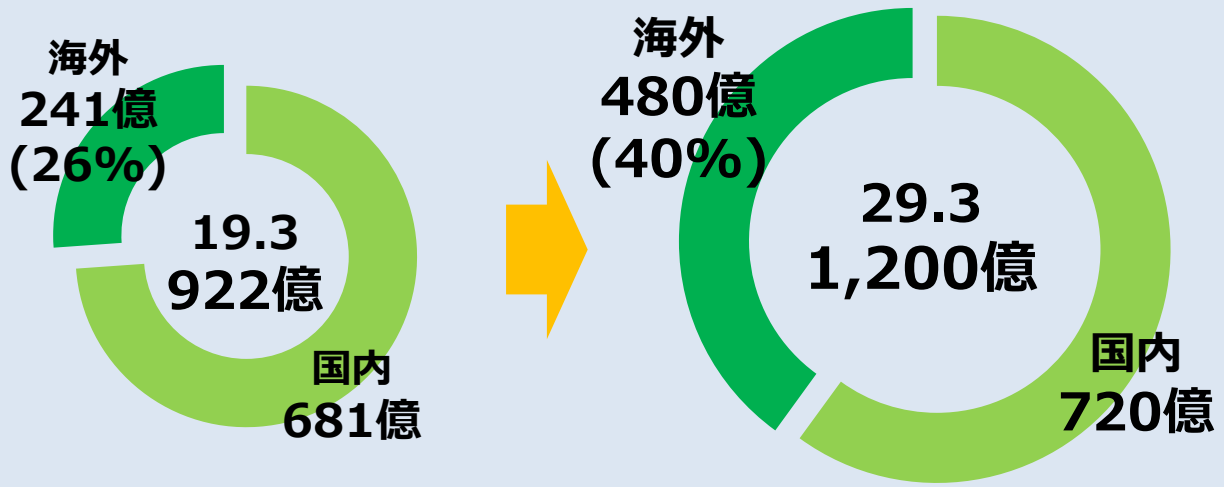


長期計画重点分野

海外事業 売上高比率

26% ⇒ 40%

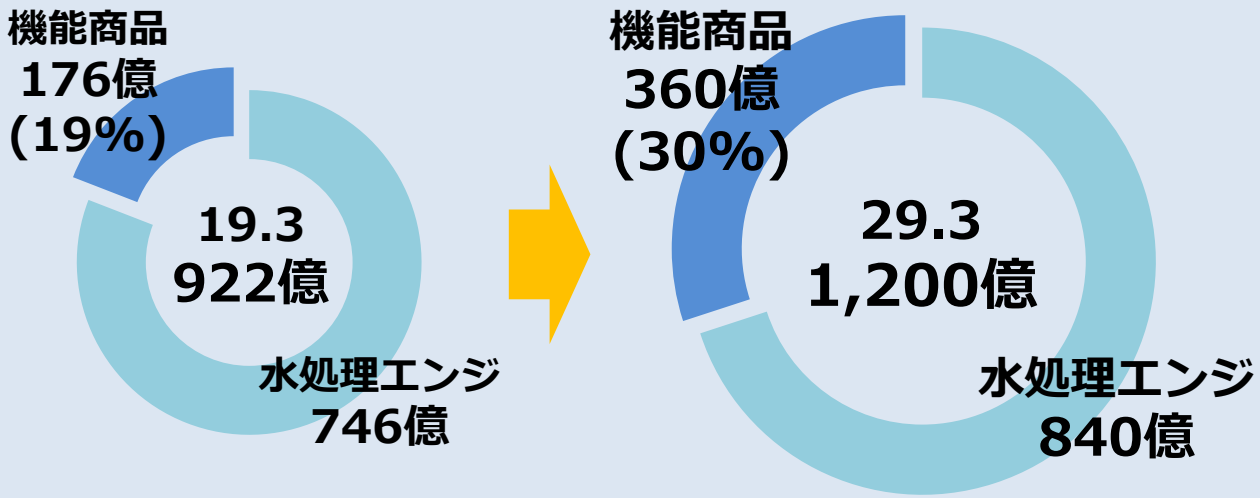
- **電子産業分野の拡大**
  中国・台湾・ソリューション
- **新たな領域・エリアへの展開**
  新事業・米国/インド



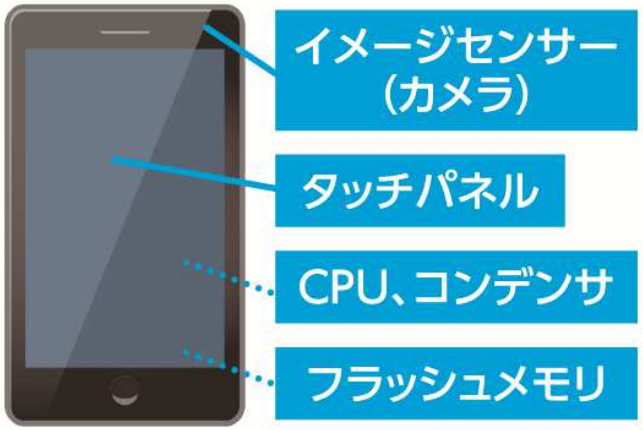
機能商品事業 売上高比率

19% ⇒ 30%

- **新商品開発の強化**
  標準型機器、水処理薬品
- **海外展開の拡大**
  中国・台湾・東南アジア



電子産業分野の拡大



スマートフォン・タブレット・PC・
家電・自動車などに用いられる半導体や
各種の電子部品製造には洗浄工程で
純水・超純水や高純度の溶剤・薬剤等が必要



シリコンウェハー

5G通信やIoT/AI技術の進展による半導体
需要の拡大に向け、電子産業分野を拡大

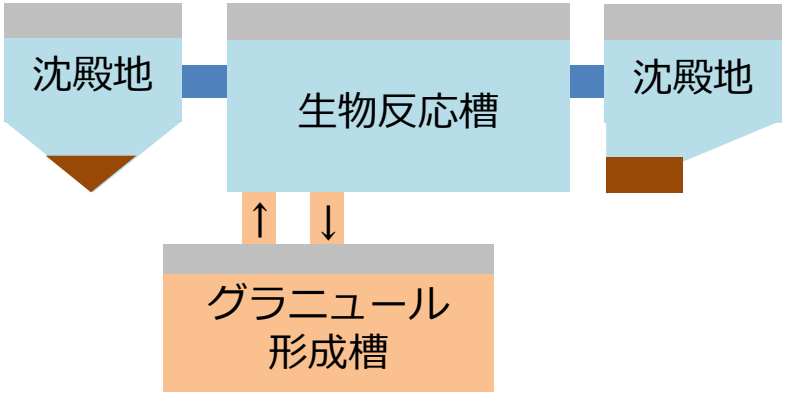
半導体関連の生産拡大が続く中国・台湾、
将来的な発展が期待できるインド、
最先端技術の開発が進む米国などに展開

高度下水・排水処理技術の展開

【従来法】 ×４系列

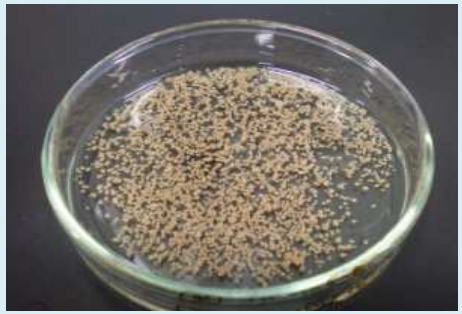


【グラニュール法】×２系列



処理微生物の高濃度化により・・・
①生物反応槽容量の大幅ダウンサイジング
②硝化能力向上による窒素除去の高速化

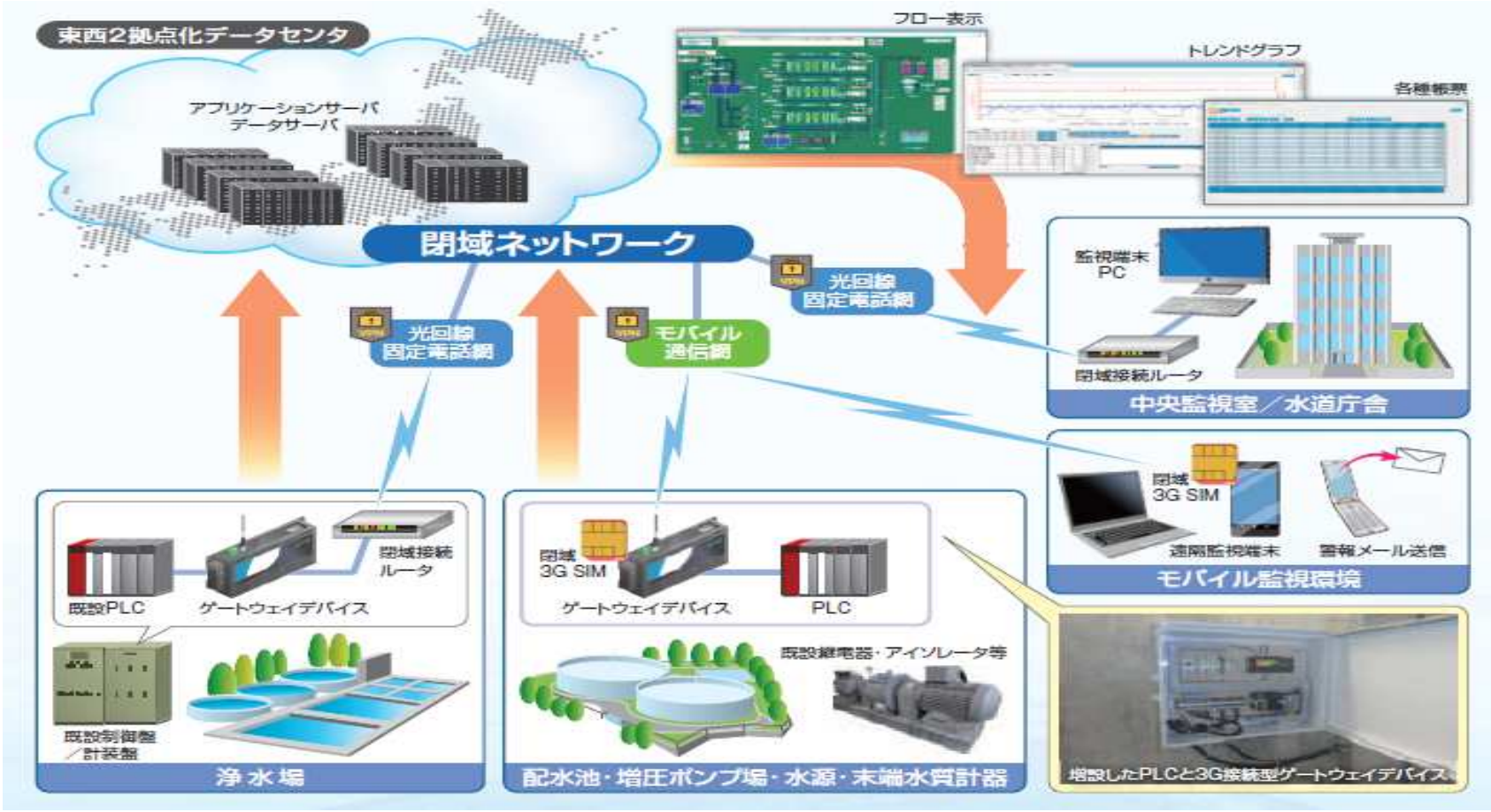
高速窒素処理システム



有効な微生物を高密度に凝集させる「グラニュール汚泥」を利用した生物処理法により、環境に有害なアンモニア・硝酸・亜硝酸などを**従来法比較で３－４倍**の高度・高速処理を達成、設備の省スペース化・低コスト化を実現、日本・米国の大都市下水処理向けに展開

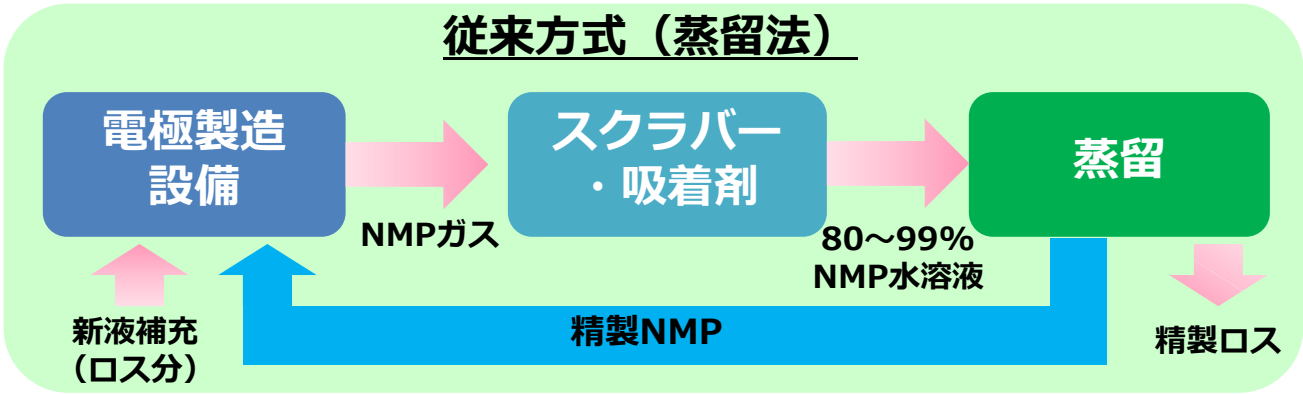
IoTを活用したソリューションサービス

クラウド型水処理監視プラットフォーム
オルトピアJクラウド



リチウムイオンバッテリー向け新技術

- 電気自動車向けの需要拡大が期待されるリチウムイオンバッテリー向けの溶剤精製技術を開発
- オルガノ独自の膜分離方式により従来法に比べ精製コストの大幅な削減を実現、中国・韓国中心に展開





NMP精製設備

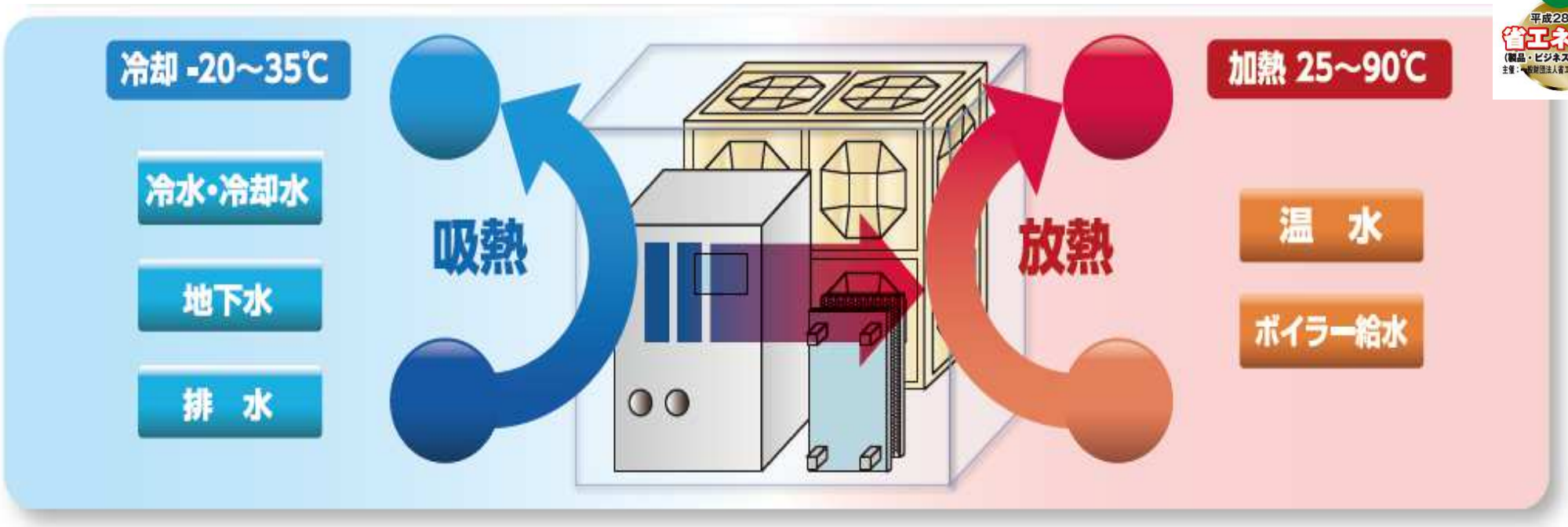




効率的エネルギー利用システム

「低温⇒高温の熱回収」・「温冷水の同時供給」を実現

水熱回収システム（みずねつ）



年間エネルギー使用量　平均削減率 52%

年間CO_2排出量　平均削減率 53%

※2016年1月までに納入した全ての水熱利用システムでの平均値

卓上型純水・超純水製造装置

- 医療機関、ラボ向けの小型装置のラインナップを拡充
- 中国では医療・検査機関向けの標準型機器の販売を開始、中国全土への販売・サービスネットワークを拡大

2017年（第60回）日刊工業新聞 十大新製品賞 モノづくり賞 受賞



超純水装置 ピューリック
純 水 装 置 ピュアライト
アルファ



ピューリックUP-α
アルファ
水道水直結・卓上型超純水製造装置

コンビニ・厨房向けフィルター

コーヒーマシーン





厨房



オルガノフィルター

コーヒーやお茶、料理の味を向上させる
オルガノフィルターが高く評価され、
国内大手のコンビニチェーン各社や
レストランなどで採用

中国・台湾・東南アジアなどに展開

味・臭い

・カルキ臭（残留塩素）を取り除きます
・お茶やコーヒーをまろやかに

安心

・配管から出る汚れやサビを取り除きます
・スケールの発生を防止します

安全

・井戸水を除菌します
・抗菌効果の維持

食品事業



納豆菌培養エキス粉末 ナットウキナーゼHTNK-J®

発見者　須見博士が指導する
日本製造のナットウキナーゼ

ナットウキナーゼって何？

納豆は日本の伝統的な発酵食品です。
納豆に含まれる酵素として、
須見博士がナットウキナーゼを発見しました。

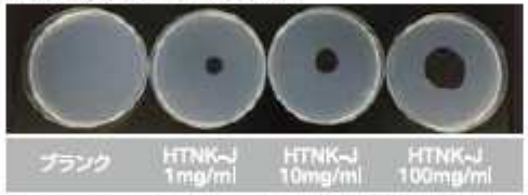
ナットウキナーゼHTNK-J®

・ナットウキナーゼ活性20,000 FU/g以上
【摂取目安量：100 mg(2000 FU)/Day】
・一般生菌数　3,000個/g以下
・大腸菌群　陰性



フィブリン溶解試験

血栓の主成分に直接働きかけます



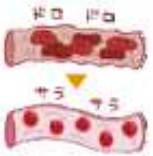
各濃度のナットウキナーゼ(HTNK-J)をフィブリン平板に滴下した様子

血管の詰まりが問題

血栓症が関連する死因が多い



出典：平成23年人口動態統計（確定数）



オルピン®XG-30　顆粒シリーズ

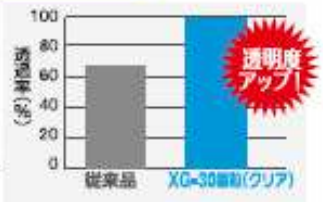
オルピン®XG-30顆粒シリーズとは

- タレ・ソース・ドレッシングなどに粘性を付与
- 顆粒なのでダマにならず、溶けやすい（時短加工）
- 冷水でも溶けるので、加熱不要
- 従来品よりも、透明感がアップ



透明性







溶け方

【水へ投入直後】　【20秒撹拌後】



本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

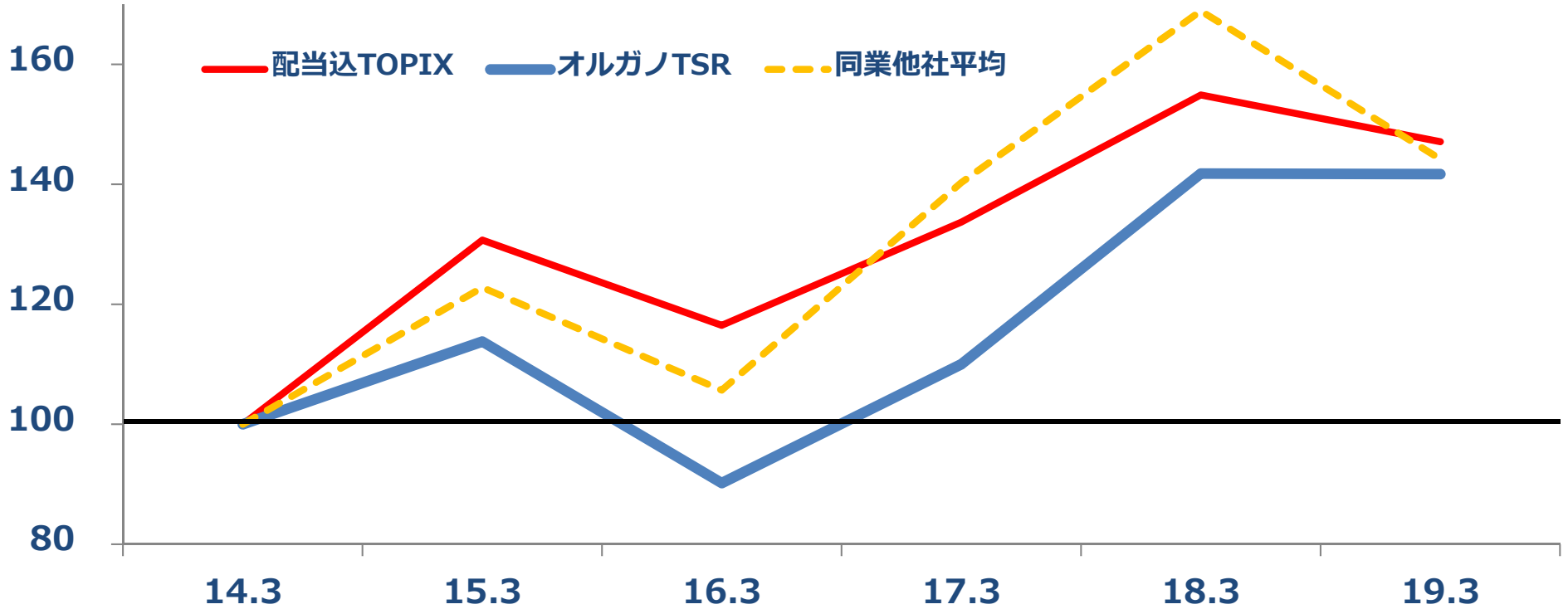
4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

6．会社概要

オルガノのTSR(株主総利回り)推移

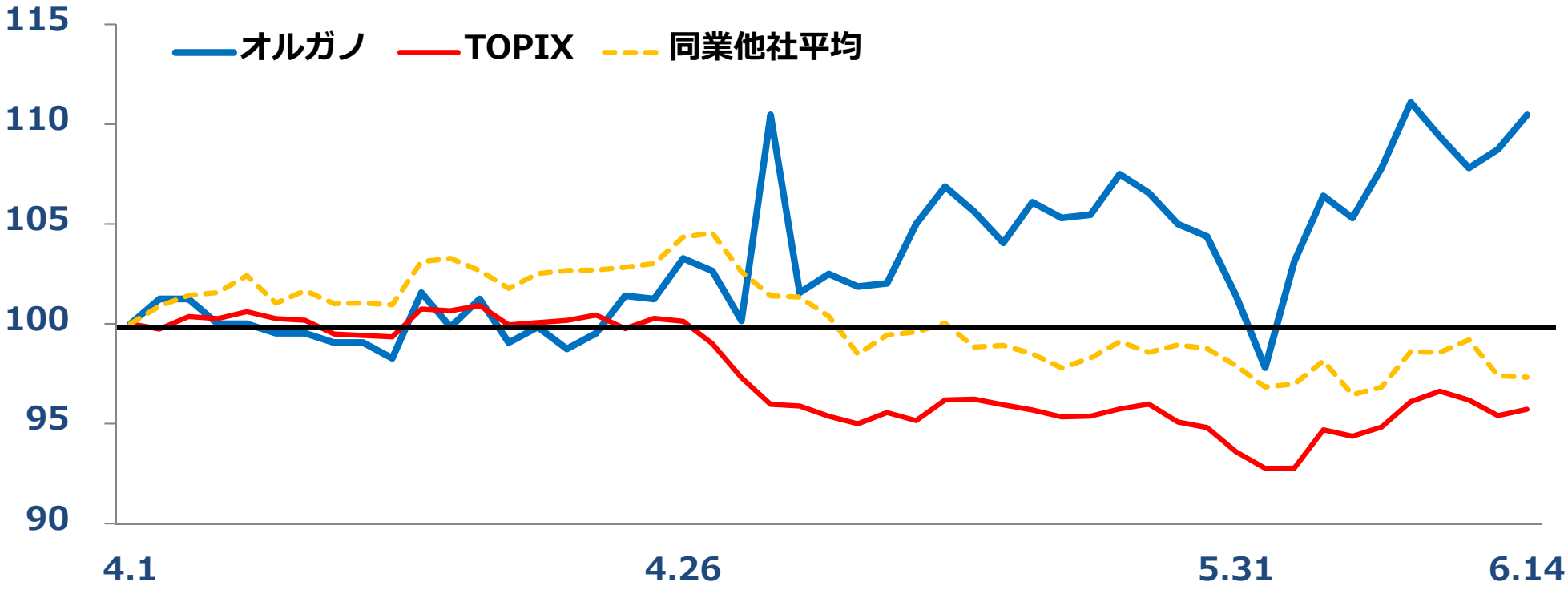
TOPIX・同業他社平均を下回る水準で推移してきたが、直近では回復傾向



※2014年3月末の株価を100とした各期末株価と年間配当額（2015年3月期からの累計額）の指数推移

直近の株価動向

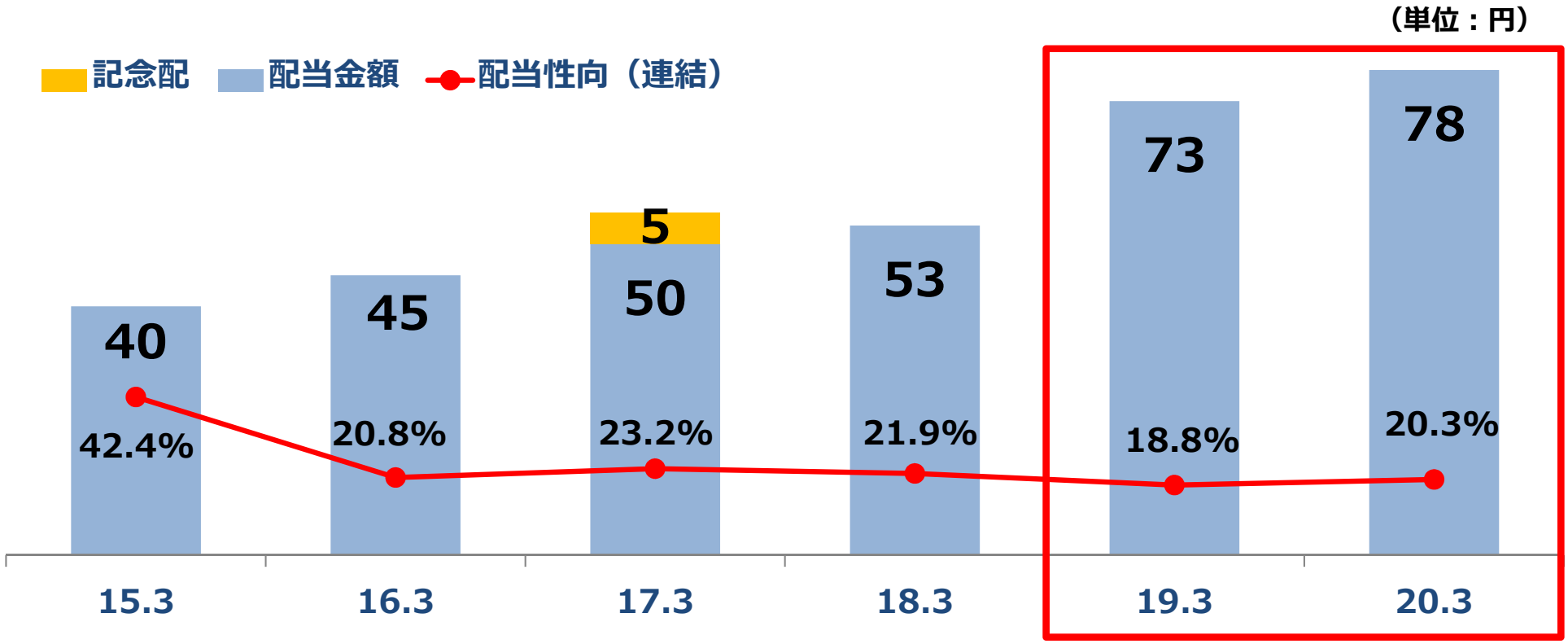
2019年4月以降の株価は
TOPIX・同業他社平均を上回る水準で推移



※2019年4月1日 付株価を100とした場合の指数推移

株主還元の拡大

- 連続での増配（記念配除くと5期連続）を継続
- 安定的・継続的な配当の実施を基本方針としつつ、収益の状況に応じた利益配分に努める



本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

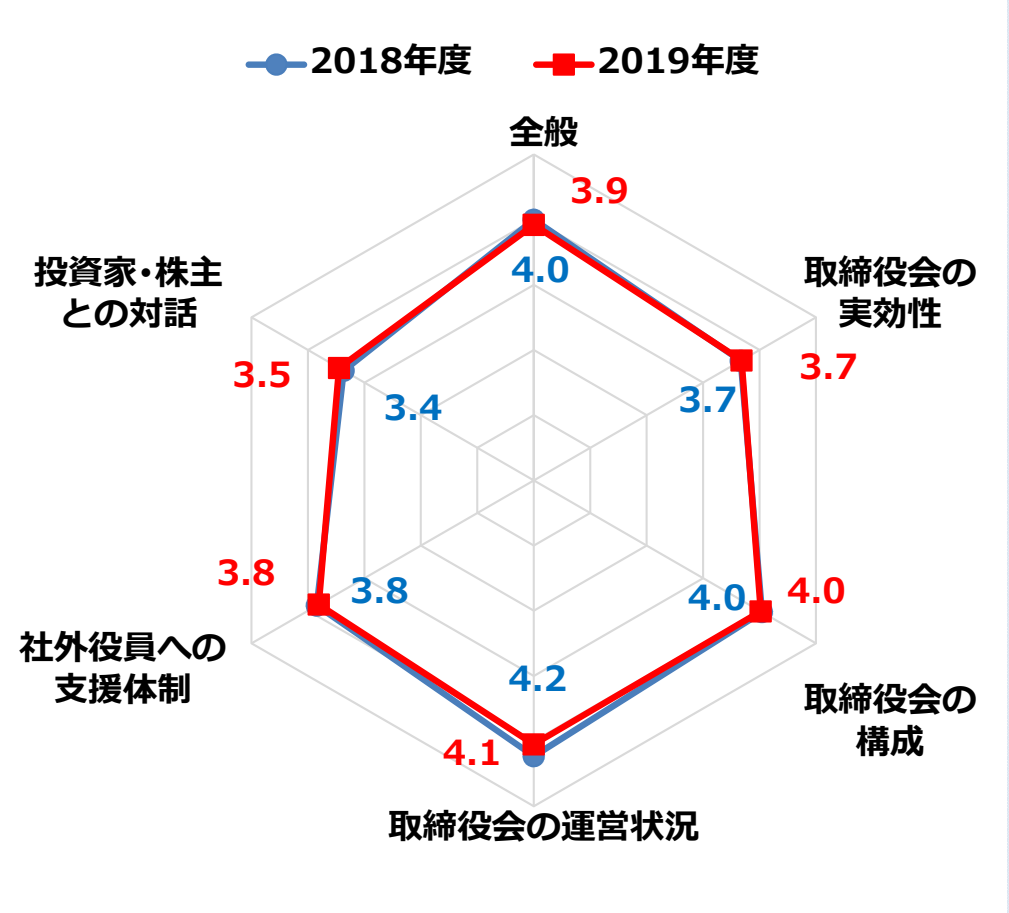
6．会社概要

コーポレートガバナンスの改革

コーポレートガバナンス改革への取組み

■ **取締役会実効性評価における課題**

- **取締役会の実効性**
  ⇒経営戦略・方針の方向性
  ⇒役員の選任・後継者計画
- **取締役会の構成**
  ⇒社外取締役の員数・割合
- **投資家・株主との対話**
  ⇒IR活動



コーポレートガバナンス改革への取り組み

課題	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
経営戦略・方針の方向性	→	理念体系の見直し 新たな経営理念・ビジョンの策定	長期経営計画策定	→
役員の選任・後継者計画	社長・取締役・執行役員の資質・能力を規定	→	解職検討基準制定	報酬委員会を指名・報酬委員会に改編
役員報酬制度	報酬委員会設置 業績連動割合の見直し	→	株式報酬制度導入	→
社外取締役の員数・構成	→	→	→	社外取締役を3名に拡充
IR活動	株主説明会開催	IR担当者増員	資料等の英文化準備	招集通知 決算短信の英文化

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．中長期経営計画

4．株価・配当金の推移

5．コーポレートガバナンス改革

6．会社概要

会社概要

社　名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631　東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設　立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長　内倉　昌樹		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,186名（連結）　※2019年3月31日現在		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
		ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、食品加工材の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ 国内ネットワーク

■ オルガノ
- 本社
- 開発センター
- つくば工場・いわき工場
- 国内７支店
  35拠点（事務所・営業所）



【いわき工場】



【つくば工場】

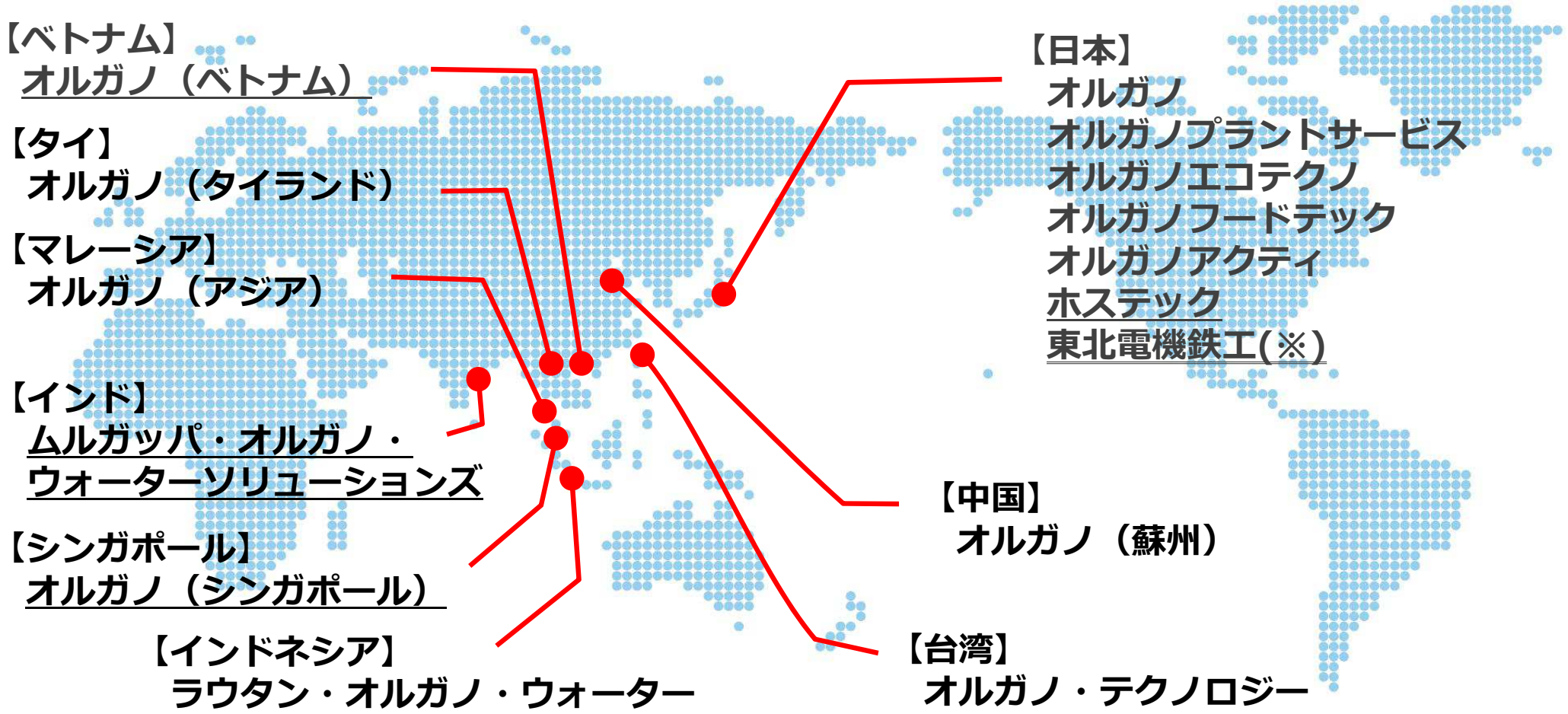
【開発センター】

【本社】

■ オルガノプラントサービス
- 5事業所
  23拠点（出張所）

■ オルガノエコテクノ
■ オルガノフードテック
■ オルガノアクティ
■ ホステック
■ 東北電機鉄工

オルガノグループ各社



(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

オルガノ株式会社



お問合せ先

経営統括本部　経営企画部

TEL : 03-5635-5111／ FAX : 03-3699-7240

ホームページ https://www.organo.co.jp/

問い合わせフォーム https://www.organo.co.jp/contact/input/

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、
リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。